

久田小陸上クラブが県で優勝 全国大会出場へ

長崎県小学生クラブ対抗駅伝



見事な活躍を見せた久田小学校陸上クラブ

1月13日、諫早市で行われた第8回長崎県小学生クラブ対抗駅伝（長崎陸上競技協会主催）で、厳原町の久田小学校陸上クラブが32分20秒で初優勝しました。

大会には県内から30チームが出場し、6区間9km（各区間1.5km）で競いました。

久田小チームは、1区（横山七海さん）、4区（内山航輔くん）、6区（早田太一くん）の3区間で区間賞を獲得するなど力走を見せ、スタートからゴールまで一度もトップを譲ることなく勝利。3月24、25日に大阪で開催される全国大会へのキップを手に入れました。また、2位には厳原小陸上クラブが、5位には豊玉陸上クラブが入るなど、対馬勢が大活躍しました。



冬の日の2006コンサート

～上対馬高校プラスバンド部～

12月23日、上対馬町比田勝の上対馬総合センターで、上対馬高校プラスバンド部主催による「冬の日の2006コンサート」が開催されました。

高校生は歌謡曲をメインに若さと情熱あふれる演奏を披露。会場に詰めかけた大勢の観客は、素晴らしい音色とひたむきな姿に盛大な拍手を送っていました。



年始めの伝統行事 キッショウ焼き

上県町佐護

無病息災などを願って行われている上県町佐護地区の伝統行事「キッショウ焼き」が1月8日開催され、地元地区の小中学生や地域住民ら約150名が参加しました。

主催したのは佐護校区育成会（平山美登会長）で、今は見られなくなった昔ながらの正月行事を体験してもらおうと3年前から行っています。

畑には、子どもたちや住民らが協力して作った高さ5メートル程のやぐらが設置され、早朝6時に着火。竹や杉の木で組まれたやぐらはすぐに高く燃え上がり、まだ暗い辺りを明るく照らしました。

その後、子どもたちは燃えさかる炎の中に正月飾りや今年の抱負などを記した書き初めを投げ入れ、1年間の健康や幸運などを祈願しました。

火の勢いがおさまった頃には辺りも明るくなり、参加者は育成会が準備したぜんざいで冷えた体を温めていました。